



## 第14回エコパークかごしま安全監視委員会について

例年8月に開催している「エコパークかごしま安全監視委員会」は、新型コロナウイルスの影響により、10月19日(水)に延期して開催されました。

委員会では、廃棄物の搬入状況や埋立状況、環境モニタリングの実施状況について報告した後、覆蓋施設内の散水や埋立作業の状況を説明しました。



各委員からは、「埋立期間の折り返し時点が経過したが、生活環境保全上の問題はなく、廃棄物の搬入も順調に推移していると思う。」「廃棄物の埋立作業や水質管理等、施設全体がよく管理されている。」「浸出水原水の水質も引き続き安定しており、埋め立てた廃棄物が安定状態に近づいていると考える。」などの意見があり、委員長からは、「この施設が安全に稼働していることを確認した。」との意見をいただきました。

## 廃棄物の受入状況について

平成27年1月の開業から今年1月末までに約28万4千トンの廃棄物を受け入れています。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻(一般廃棄物を含む)が約46%で約13万1千トン、がれき類(廃石膏ボードを含む)が約17%で約4万8千トン、汚泥が約11%で約3万2千トンとなっており、この3種類で全体の約4分の3を占めています。

(令和5年1月末現在)

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	130,963	46.12
がれき類(廃石膏ボードを含む)	48,101	16.94
汚泥	32,388	11.41
ばいじん(一般廃棄物を含む)	24,095	8.48
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	23,753	8.36
木くず	13,288	4.68
廃プラスチック	5,174	1.82
13号廃棄物	3,495	1.23
鉱さい	1,440	0.51
動植物性残さ	559	0.20
紙くず	270	0.10
金属くず	265	0.09
繊維くず	190	0.06
合計	283,980	100.00

※小数点以下四捨五入のため合計と一致しません。

# 教えて！エコパーク先生！



みなさんこんにちは！  
 前は「エコパークかごしま」に持ち込まれる産業廃棄物の汚泥と、  
 汚泥が発生する中間処理施設の「脱水施設」について説明しましたね。

微生物などが汚れた水をきれいにする時にできた汚れの塊を脱水施設を使ってきれいな水と汚泥に分けるんだよね！



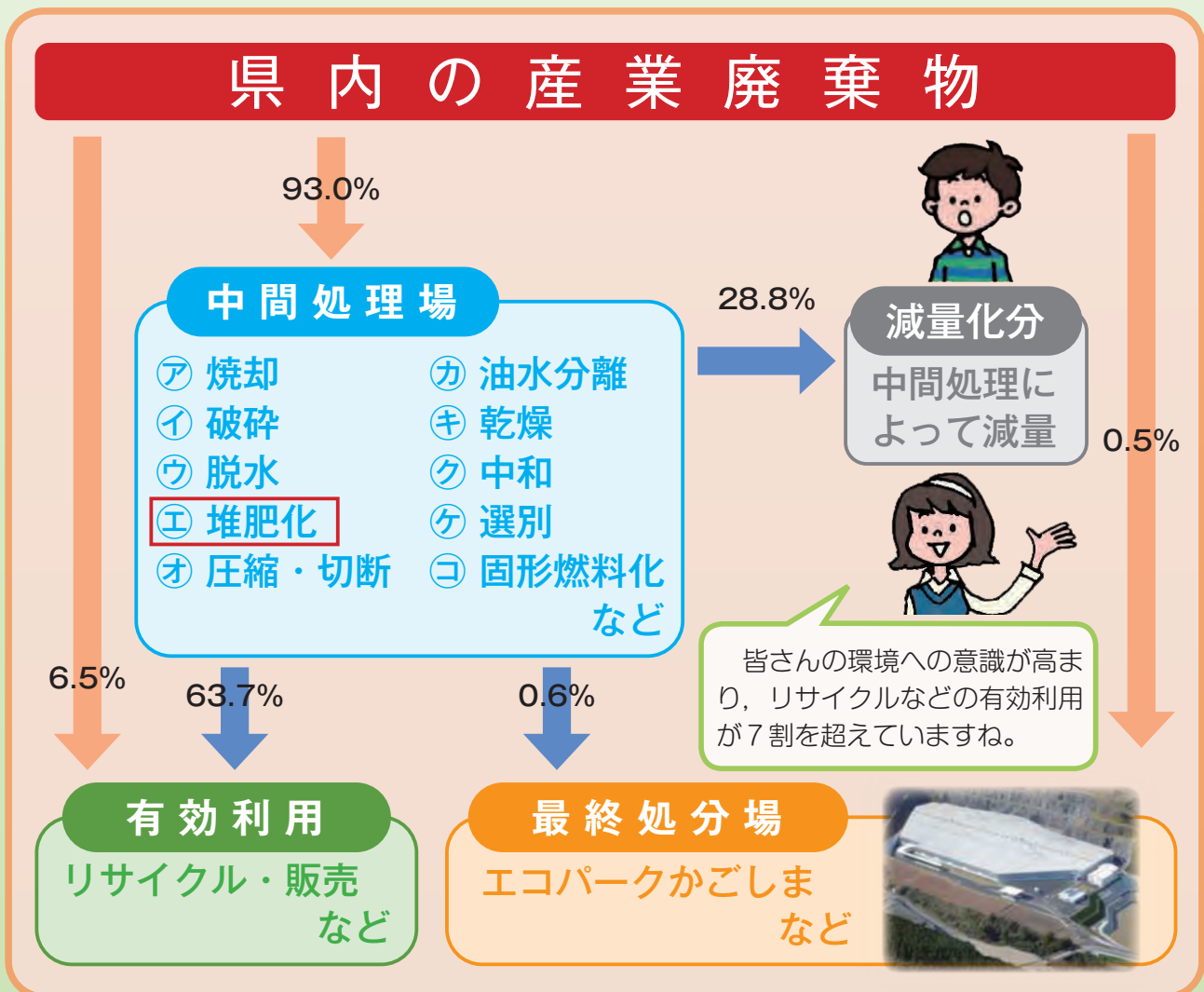
汚泥も捨てるだけじゃなくて、リサイクルできるみたいで、今回はそのリサイクル方法を教えてもらえるんだよね。



そうですね、今回は前回の最後にちょっとだけ話した、下図の㊦の堆肥化施設について勉強していきましょう。



## 産業廃棄物の流れ





堆肥化施設には、汚泥以外にも木くずや動植物性残さなどが入ってくるんです。

堆肥って作物を作るときに使うやつだね？  
汚泥とかからどうやって作られているのかな？



そうですね、今回は、堆肥化施設についての説明と一緒に、堆肥ができあがる仕組みについても、簡単に説明していきますね。

## 【工】 堆肥化施設

堆肥化施設には、汚泥や木くず、食料品を加工する際に発生する動植物性残さなど有機性の廃棄物が入ってきます。入ってきた廃棄物は、微生物の力を借りて発酵させることで、農作物の栄養となる堆肥に変化します。



時間をかけて廃棄物から農作物の栄養に生まれ変わるんだね。  
僕たちが食べてる野菜もそうやって育てているのかもね。

私たちが出したごみから、適切な処理を行うことで農作物の栄養となり、その栄養で立派に育った農作物を私たちが食べています。  
このように循環させることで、環境に優しい社会ができてるんですね！





## 排出事業者様にお話を伺いました！

株式会社勝利商會 武岡事業所 所長 下田龍二さんにお話を伺いました。

「美しい自然を子ども達の未来へ」をスローガンに掲げ、多種多様な産業廃棄物の適正処理に努めています。医療廃棄物の焼却を除いた建設系廃棄物に至っては8割以上のリサイクル率を達成しており、優良産廃処理業者の認定をいただいております。

これからも地域密着型の一企業として、鹿児島島の発展に貢献してまいります。



県内唯一の管理型最終処分場でありますエコパークかごしまは、国内最大級の覆蓋管理型最終処分場で全国の最終処分場水処理施設のモデルとなっている浸出水処理施設を有しており安心安全に最終処分を委託できる施設です。

また、鹿児島市の弊社処分場より約1時間で搬入できる身近な最終処分場でもあります。

鹿児島島の産業発展に際して排出される廃棄物を県内で安全に最終処分することができるエコパークかごしまは、21世紀の鹿児島県民の生活環境保全にとって、とても重要かつ必要不可欠な施設であるという印象を持っております。

## 環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、毎月、周辺の水質（地下水及び河川水）の測定を行っているほか、年に1回、悪臭や騒音等の調査を実施しており、いずれも異常は認められていません。

詳しい調査結果は、エコパークかごしまのホームページに掲載しています。

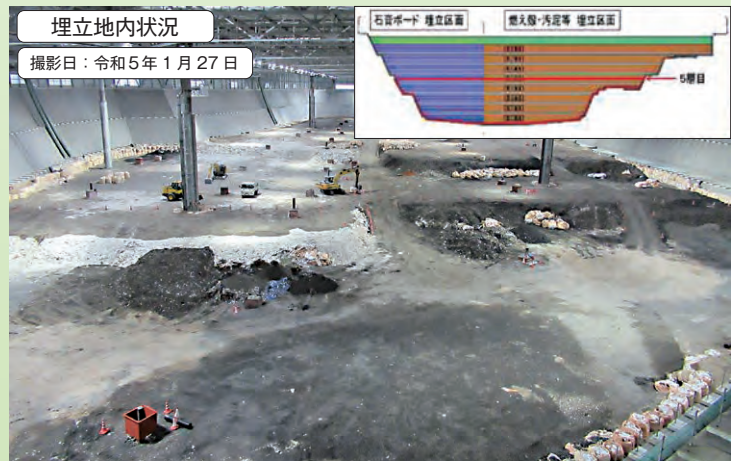


## エコパークかごしま連絡協議会について

2月2日（木）に関係自治会や薩摩川内市等で構成するエコパークかごしま連絡協議会を開催し、廃棄物の埋立作業の状況や地域振興策の進捗状況について報告を行いました。



エコパークかごしま連絡協議会



現在、全8層あるうちの5層目の埋立に入っているところです。

### ☆編集後記☆

今年は、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」をはじめ、各地で様々なイベントが開催されることから出掛ける機会が多い年になりそうです。今後、県内の産業活動がますます活性化されることが期待されます。

エコパークかごしまは、引き続き皆様に分かりやすい情報を発信するとともに、安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいります。

### 問い合わせ先

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社  
〒895-0033 薩摩川内市川永野町6924番地11  
TEL 0996-21-1220  
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当公社ホームページ (<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>) でも閲覧いただけます。